

空調タイムス

THE AIR-CONDITIONING TIMES

3 | 18 | 水

2009年〈平成21年〉

週刊

第2298号

創立20周年記念式典を開催

日本システム企画

配管内更正装置「NMRパイプテクター」を展開する日本システム企画(社長＝熊野活行氏、本社・東京都渋谷区笹塚二―二―二)は三月三日、都内の日本赤十字社本社ビルにて同社創立二十周年の記念式典を開催した。また、この式典では同じく熊野活行氏が経営する介護用製品、栄養補助食品を扱う日本ヘルスケアも創立二十周年を迎え共催での式典となった。会場には約二百名の来賓を含む参加者があり、同社の事業ならびにボランティア活動として行っている日本モンゴル友好交流協会、日本ミヤンマー友好交流協会などの関係者も内外より数多く訪れた。

去二十年連続での黒字経営を続けてきたこと語った。同社は主力製品である配管内赤錆防止装置「NMR工法装置」が現在の不況で、益々追い風となつて今後のさらなる市場拡大が期待されるとし、また三月より新製品として発売する特許製品、カルシウム付着防止装置「ノンスケーラー」が欧米各国においてNMR以上の市場拡大を予測しているとし、これによって配管更正メーカーから、総合水処理装置メーカーへ変身をしていくものとした。

さらに今後の事業軸としてグリーンエネルギーである自然エネルギーを利用した「新発電システム」の開発を現在行っており、この開発が成功の暁には火力発電の五〇%、七千万キワ以上の発電力が見込まれ総発電におけるCO₂排出量を五〇%以上、削減できるとともに百万人以上の雇用創出が行えるものとした。

また熊野活行社長は現在、わが国における自然エネルギーの創出は今年度より太陽光などへの助成なども含め、今や国策としてのテーマとなっているが、国土の狭さゆえ仮に普及させても百万キワの発電が限界であり、これは日本の総発電量、二億三千五百万キワのわずか〇・四%にしか満たないとして、自社にて開発を進めている新発電システムの優位性を説いた。